

人事院会議議事録

会議日

令和3年7月30日 金曜日

会議の出席者

川本総裁 立花人事官 古屋人事官
(幹事) 松尾事務総長、柴崎総括審議官
(説明員) (給与局)
佐々木局長、荻野次長、近藤給与第一課長、
一之瀬給与第三課長
(職員福祉局)
好岡職員団体審議官

議題

期末・勤勉手当の本年の取扱い

議事の概要

- 議題「期末・勤勉手当の本年の取扱い」について、担当局から、別添のとおり説明があった。
- 議題については、三人事官一致で了承された。

期末・勤勉手当の本年の取扱い
(令和3年7月30日院議説明概要)

- 本年については、公務の期末・勤勉手当の年間支給月数（4.45月）が民間の賞与の年間支給月数（4.32月）を上回っているため、0.15月分引き下げ、4.30月としたい。
- その際、年間支給月数の引下げは、一般職員の特別給に占める勤勉手当の割合が民間の賞与に占める考課査定分の割合を下回っているため、期末手当から差し引くこととしたい。
- 年間支給月数の改定は、令和3年度は12月期の期末手当で行い、令和4年度以降は6月期・12月期の期末手当の支給月数を同じ月数とすることとしたい。

以 上